

記入例と記入のポイント

別記様式（第4条、第6条関係）

飲食業等設備投資応援事業 実施計画（実績報告）書・事業収支予算（決算）書

1 補助対象事業者の概要

名 称	株式会社米子
代 表 者	代表取締役 米子 太郎
所 在 地	鳥取県米子市加茂町一丁目1番地

2 補助対象事業の計画（実績）

事 業 目 的	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に係る店舗の現状と課題を踏まえ、今回の補助事業により設備導入・施設改修等を行なう必要性について明記してください。</p> <p>【記入例】 米子市加茂町一丁目1番地「米子屋」で実施している飲食事業において、店内での飲食について徹底した感染対策をとっているものの、更に店舗内での感染リスクを下げつつ売り上げの維持を図るため、テイクアウトの業態にも対応をする必要がある。</p>
事 業 内 容	<p>上記「事業目的」の内容を踏まえ、今回の補助事業により導入する設備・実施する工事等の内容について具体的に説明してください。</p> <p>【記入例】 テイクアウト事業を実施するにあたり、食品を安全に持ち帰っていただくために必要となる〇〇機の導入及び店舗の〇〇工事を行う。</p>
事 業 効 果	<p>上記「事業内容」の内容を踏まえ、今回の取り組みが新型コロナウイルス感染症の拡大防止や業態の転換、事業の継続にどのように繋がるか明記してください。</p> <p>【記入例】 〇〇機の導入及び〇〇工事によってテイクアウト事業を開始することができる。テイクアウト事業は、店内での感染リスクを低減させつつ、新たな需要を喚起することで低下した売り上げを補填し、事業の継続に繋がる取り組みである。</p> <p>(ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none">・実施する設備導入・工事等が、①新型コロナウイルス感染拡大防止につながるか？ ②事業継続のための業態の転換・新しい取り組みにつながるか？・今回の取組みが、店舗の抱える現状・課題の克服に寄与し、事業の継続に資するか？
実施（予定）時期	<p>令和3年3月31日までに、対象経費の支払い・実績報告書の提出・検査まで全て完了する必要がある点に留意していただき、ご記入ください。</p> <p>【記入例】 令和2年5月1日 から 令和2年6月15日 まで</p> <p>※〇〇機の購入を5月1日に行い、〇〇工事に係る契約を5月8日に締結し、完了後の工事費の支払いを6月15日に予定している場合の記載例です。</p>

3 事業収支予算（決算）（補助対象経費に係る部分について記載してください）

(1) 収入の部

収入区分・収入項目	金額（円）	備考
自己資金	450,000 円	
飲食業等設備投資応援事業補助金	750,000 円	補助対象経費の 3/4 1,000 円未満の端数は切捨て
	合計 1,200,000 円	

(2) 支出の部

経費区分・経費項目	金額（円）	説明 (積算根拠)
〇〇機購入費	300,000 円	〇〇機 2 台（見積書添付）
□□工事費	900,000 円	□□工事費一式（工事契約書、 図面添付）
	合計 1,200,000 円	

※収入と支出の金額は同額となるよう記載してください。

※補助金交付額の算出の根拠となる補助対象経費については、消費税（及び地方消費税）を除いた金額となります。ただし、事業期間を含む会計年度において消費税の納税義務のない事業者については、消費税（及び地方消費税）を含めた金額とすることができます。

添付資料

- (1) 補助対象事業の内容が分かる図面、写真等（補助対象事業の実績を確認することができる図面、写真等）
- (2) 工事見積書の写し、委託業務見積書の写し（工事契約書の写し、委託業務契約書の写し、補助対象経費の支払に係る証ひょう類の写し）等